

古文入門 宇治拾遺物語 児のそら寝（自習プリント）

◇全文を、最低三回、音読しよう。

◆要点の整理

1 次の文の空欄に本文中の語句を補え。

比叡山の延暦寺の僧たちが、ある夜①を作ろうと思った。それを聞いた②は、寝たふりをして待つことにした。出来上がったところで、僧の一人が声をかけてくれたので③と思った。しかし、すぐに返事をしては待つていたと思われそうなので、我慢して、返事をしないで寝ているうちに④と食う音がした。我慢が出来ずに、だいぶたつてから⑤と答えたので、僧たちは大笑いをした。

① 〔 〕 〔 ② 〕 〔 〕 〔 ③ 〕 〔 〕
④ 〔 〕 〔 ⑤ 〕 〔 〕 〔 〕

◆表現

1 次の語句を、発音するとおりに平仮名・現代仮名遣いで書け。

① かいもちひせむ（一一・二） 〔 〕 〔 〕
② 言ひける（一一・二） 〔 〕 〔 〕
③ し出ださむ（一一・三） 〔 〕 〔 〕
④ 寝ざらむ（一一・三） 〔 〕 〔 〕
⑤ わろかりなむ（一一・三） 〔 〕 〔 〕
⑥ 思ひて（一一・四） 〔 〕 〔 〕

- ⑦ ひしめき合ひたり (一一・五)
- ⑧ おどろかさむずらむ (一二・一)
- ⑨ 待ちゐたるに (一二・二)
- ⑩ もの申しさぶらはむ (一二・三)
- ⑪ おどろかせたまへ (一二・四)
- ⑫ 言ふ (一二・四)
- ⑬ 思へども (一二・五)
- ⑭ いらへむも (一二・六)
- ⑮ 思ふとて (一二・七)
- ⑯ 寝入りたまひ (一三・一)
- ⑰ 思ひ寝 (一三・二)
- ⑱ 食ひに食ふ音 (一三・三)
- ⑲ 笑ふ (一三・四)

◆ 読解

1 次の語の意味を、教科書の現代語訳で確かめよ。できれば、辞書でも調べよ。

- ㉑ つれづれ (一一・一)
 - ㉒ おどろく (一二・四)
 - ㉓ いらふ (一二・六)
 - ㉔ 念ず (一二・八)
 - ㉕ 山 (一一・一)
- || ひえいざんえんりやくじ
比叡山延暦寺。

① 児 (一一・一) 〓 学問や行儀見習いのために寺院に預けられた少年。貴族の子弟が多い。

《参考》 *寺 〓三井寺園城寺。 *祭 〓賀茂神社の祭・葵祭。
*童・童子 「召し使われて働く少年。」

2 ① 「児ありけり」(一一・一)、② 「かいもちひせむ」(一一・二)の部分の現代語訳で補われている助詞は何か。また、その働きは何か。

- ① 補われている助詞 「 」 働き 「 」
- ② 補われている助詞 「 」 働き 「 」

3 この話の場所・時間・登場人物を挙げよ。
場所 「 」 時間 「 」 登場人物 「 」

4 「児」が心の中で思っている部分を、本文中からすべて抜き出せ。

- 「 」
- 「 」
- 「 」
- 「 」
- 「 」
- 「 」
- 「 」

*ヒント 引用の「と」「と」とに注目。

5 「僧たち笑ふことかぎりなし」(一三・四)とあるが、「僧たち」は、誰のどのような行為を笑ったのか。
「 」

◆歴史的仮名遣い

1 古文で使われている五十音図のうち、次の各行を正しく平仮名で記せ。なお、必要な箇所には歴史的仮名遣いを用いること。

ア行	ハ行	ヤ行	ワ行

2 次の傍線部①～④の読み方を、それぞれ片仮名で答えよ。

色はにほへど 散りぬるを わが世誰ぞ 常ならむ うゐの奥山 けふ超えて 浅き夢見じ ゑひもせず (いろは歌)

① 「 」 ② 「 」 ③ 「 」 ④ 「 」